

令和元年度 第2回 門真市子ども・子育て会議 就学前教育・保育部会に係る審議経過について

◆ 日 時：令和元年 10 月 23 日（水） 午前 10 時 00 分～午前 10 時 50 分

◆ 議 題：1. 利用定員の設定について

2. 地域子ども子育て支援事業の量の見込みと確保方策（案）について（前回未定部分のみ）

3. 門真市民間保育園協議会からの要望について

4. その他

◆ 主な審議内容

議題	内容	委員からの主な意見	部会での審議結果
【議題1】 利用定員の設定 について	- 令和元年 11 月 1 日から新たに開園する小規模保育事業 1 園の利用定員について提示。 - 園名：ぬくもりのおうち保育門真市駅前園 - 定員：19 名 - 場所：門真市新橋町	- 連携施設の確保ができていない小規模保育事業所について、確保のために市としてどのような支援ができるのか、具体的な案を持っておくべきである。 - 卒園後に受け皿があるという安心感がなければ、小規模保育事業の利用希望は減っていくのではないかと。 - 普段から交流のある施設を連携施設として設定し、卒園後に受け入れが可能となるよう配慮していくべきである。 【事務局回答】 - 保育所、認定こども園の他、幼稚園の預かり保育の活用などを含め、引き続き検討してまいります。	事務局案で進めること に対して承認を得た。

議題	内容	委員からの主な意見	部会での審議結果
【議題2】 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策（案）について （前回未定部分のみ）	・第1回部会及び全体会議において地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策（案）について審議した際、未定であった病児・病後児保育事業の量の見込みと確保方策について、決定後の数を提示。	・病児保育事業に係る運営補助金については、基本額と利用人数に応じた加算額で構成されているが、補助金額の低さや利用人数が安定しないという事業の特性上、運営が安定しない。 このことから、安定的に事業実施可能な仕組みを検討すべき。 【事務局回答】 ・事業の安定的な運営に向けた補助金のあり方について、実際の利用状況やニーズ、他市の事例を参考にしながら検討してまいります。	事務局案で進めることに対して承認を得た。
【議題3】 門真市民間保育園協議会からの要望について	・門真市民間保育園協議会より、副食費の取り扱いについて、現在1人当たり月額3,000円を上限として補助を行っているところを、国が示す副食費実費徴収の目安である4,500円へ変更する事を求める要望があったことから、内容を説明の上、各委員に意見を求めた。	・副食費補助金は2号児童の費用負担を軽減するものであるが、1号認定児童や私学助成の幼稚園に通う園児も同様に負担軽減を図り、全ての子どもを対象に等しく子育て施策を行い、魅力あるまちづくりを進めてほしい。 【事務局回答】 ・2号認定児童と1号認定児童、あるいは私学助成幼稚園の児童における費用負担の差については、かねてより認識しており、差の解消について検討してまいります。 また、副食費補助金の取り扱いについて、市の補助上限額と国が示す副食費実費徴収額の目安に差が生じていること、それに伴う公私間における費用負担の差や民間施設への影響等は認識しており、上限額の引き上げについて検討してまいります。	部会にていただいた意見を踏まえ、事務局にて検討の上、全体会議にて結果を報告することとした。